

健やか子育て、三つの秘訣

聖書箇所：創世記 2 章 2 4 節

「それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、二人は一体となるのである」

その一：夫婦の親密さ、夫婦 > 親子 「二人は一体となる」

夫婦は第一、親子は二の次。子どもの問題の多くは夫婦関係に起因。

愛し信頼しあう夫婦関係は子どもの健やかな成長の第一条件。

水谷の子育て座右の銘「こどもは夫婦愛のおこぼれで育つ」

夫婦子ども二名の一家四人が手をつないで歩くとしたら、並び方は？

「子どもに対して何ができるか？」でなく「夫婦がどうあるべきか？」が大切。

アピール：子どもに何をするか？ではなく、まず夫婦の一致を。

その二：世代間の分離、子育て = 子別れ 「父と母を離れ」

夫婦は愛し合い一つになる関係。親子は愛し合い離れる関係。

上の世代について：問われるのはまずは、親自身の親離れ。

舅、姑と妻の関係は夫が中心となり明確な世代間の分離を形成すべき。

日本男性のほとんどは隠れマザコン？妻との一体、親との分離を告知できるか？

自分の下の世代について：子どもは親を離れるべき存在。子育ては子別れ。

日米での誕生記念の違い：日本では、へその緒、アメリカでは？

年齢に応じた自立度を達成していく育て方を。（足し算より引き算、飼育でなく育児を）

アピール：上の世代には分離を示し、下の世代は自立に向けて育てる。

その三：性役割の明確化、父親 ≠ 母親 「人は・・・妻と結び合い」

男女がそれぞれの役割を持つ。男女それぞれの長所、持ち味を活かすべき。

現代において失われがちなのは、父親側の機能。第二の母親化？

父親が伝えるべき秩序重視や規範意識の重要性。

母子家庭の困難さ、大切なのは、父親の存在でなく心理的存在。

両親が男女それぞれのモデルを示すことが親の責任では？

水谷家の方針「神様信じて、ママのような女性になり、パパのような男性と結婚」

アピール：自分の立場で与えられた性の役割を考え、具体的に活かす努力を。

結論：「子どものため」「私一人が我慢」でなく健やか家庭の形成で家族全体が幸せに。

そのために自分からできる努力とチャレンジを。